

平成30年度 地域連携活動報告書

協定締結日	平成26年12月22日	連携先名称	富岡市地域連携協定
活動状況		連携先窓口	
活動資金		担当教員(所属)	長島孝行
活動体制(単位)		関連教員(所属)	農学部デザイン農学科
活動内容	<p>農大マルシェの開催：2018年11月18日（日曜）富岡市産業祭の1ブースで農大で開発したシルク美容液、養蚕の際のゴミとなっていた桑の小枝を利用した桑和紙、シルクタンパク質を原料にしたシルクサプリメント、シルクタンパク質や桑抹茶のブレンドされ手作り石鹸などを展示し、学生がそれらの製品のストーリーや機能性などを訪れた方に説明した。短い時間ではあったが、80名以上の方が研究室ブースを訪ねてくれた。</p> <p>富岡市新庁舎落成式：2018年3月24日、岩井市長招待により、落成式典に出席した。式典では、市庁舎の設計を行った建築家の隈研吾氏による記念講演が開催され、設計のストーリーや素材などについて講演した。その後関係者を中心に庁舎内の視察を実施し、隈研吾氏自身で解説してくれた。シルク素材に関しては長島が一部捕捉をした。</p> <p>5月の市長選で市長が交代したため、その後の連絡が途絶えているのが気がかりである。</p> <p>富岡市にあるパーソルサンクスのとみおか繭工房との取り組み：障害者を中心に構成されているとみおか繭工房と研究室では、SDG sの観点を踏まえ農福連携事業で富岡市民養蚕を実施している。その際に養蚕のゴミとなっている桑の小枝を利用した桑の和紙作りを研究室で指導し（障害者でも簡単に作成できる方法を研究室で開発）、商品化に向けて改善を重ねている。来年度中には企業との連携（現在滋賀県近江八幡市にある和菓子屋たねやを候補にしている）を現実化し、社会実装を目指している。</p> <p>森林経営学研究室では、群馬県富岡市で毎年3月実習を行っている。特に今年度は、学生と一緒に富岡市の蔓籠づくりのイベントを参考に、研究報告を学生と一緒に、日本森林学会（新潟県20190322）で行った。</p> <p>その際には、富岡市役所の方、つるづくりの指導されている方にお世話を頂いたとのことです。</p>		